

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択必修	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	生活支援技術Ⅱa	担当者名	三國 美香
授業の概要	尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。				
科目の到達目標	生活支援の理解の他、自立に向けた居住環境の整備、移動の介護、家事の介護人生の最終段階における介護や福祉用具の意義と活用を通して、介護の専門性や役割を学ぶ。				
DPの観点	⑩問題解決力(40%)、⑥専門知識・技能(30%)、⑧実践力(30%)				
授業時間外学修 (予習・復習)	講義予定部分のテキストを読む(予習)・毎回の講義で行われた技術の復習を行う。予習・復習についてはそれぞれ2時間の学習をすること。テキストにある動画を事前に確認し、予習・復習に活かす。				
フィードバックの方法	リアクションペーパーをもとに、授業の前後に振り返りを行う。				
単位認定の要件	毎回の講義態度と積極性等をもとに習得状況を確認する。講義時実技確認テストを行い、到達度を評価する。				
評価の方法・割合 (%)	授業内活動(60%) 確認テスト(20%) リアクションペーパー(20%)				
履修上の注意事項	介護実習に関連性のある講義・実技のため毎回身だしなみの確認を行う。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			快適な居室環境:ベッドメイキング	⑧	リアクションペーパー
2			起き上がり・移動1(一部介助)	⑥	リアクションペーパー
3			起き上がり・移動2(全介助)	⑥	リアクションペーパー
4			状態に応じた食事介助	⑩、⑧	リアクションペーパー
5			状態に応じた家事の介護	⑩、⑧	リアクションペーパー
6			疾病に応じた介護1(視覚、聴覚障害)	⑥	リアクションペーパー
7			疾病に応じた介護2(内部障害)	⑥	リアクションペーパー
8			疾病に応じた介護3(呼吸器・膀胱機能障害)	⑥	リアクションペーパー
9			疾病に応じた介護3(直腸・腎臓機能障害)	⑥	リアクションペーパー
10			疾病に応じた介護3(発達障害・精神障害)	②・⑧	リアクションペーパー
11			疾病に応じた介護4(難病・重複障害)	②・⑧	リアクションペーパー
12			場面に応じた福祉用具の活用	⑩・⑧	リアクションペーパー
13			終末期における支援の視点	⑩・⑥	リアクションペーパー
14			介護総合支援1:場面に応じた介助(一部介助)	⑩・⑧	リアクションペーパー
15			介護総合支援2:場面に応じた介助(全介助)	⑩・⑧	リアクションペーパー
期末試験			各項目時に実技確認テストを行う		

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座』第8巻「生活支援技術Ⅲ」(中央法規出版)発行:庄村明彦 編集:介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	『イラストで理解する初めての介護-心と技術』川島みどり編集(中央法規出版)他
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--